



Shin-ei



えにし

縁だより

コンクリートの歴史



木々の葉も色づき秋らしさを感じる頃、今月は工務部の内場智仁がコンクリートの歴史をご紹介します。コンクリートの起源は約 9000 年前イスラエルのイフタフ遺跡に遡り、約 5000 年中国大地湾遺跡、エジプトのピラミッド、古代ローマのコッセオ、ギリシャのパルテノン神殿等世界中で使用されていました。建築材料としては約 2000 年前の古代ローマ人によるローマン・コンクリートです。火山灰、石灰、碎石を混合したものが水中で硬化し自然界にはない強度を増すことがわかり、ローマ帝国のインフラ整備に役立てました。その後イギリスの産業革命で現在のポルトランドセメントが考案され、1848 年にフランス、1871 年にアメリカ、1875 年日本でセメントの製造が開始されました。旧長浜駅舎の無筋コンクリート壁(1882 年)、琵琶湖疏水の鉄筋コンクリートの橋(1890 年)が日本発のコンクリート構造物として現在も残っています。またフランスの建築家オーギュスト・ペレは鉄筋コンクリートを芸術的に用いたことで「コンクリートの父」として知る人もいるのではないのでしょうか。自然界にあるものを組合せ強度を持たせたこの発明は、現在の私たちの暮らしに欠かせない存在となっています。これからの持続可能な社会へのヒントが隠されているかもしれません。私たちもサステイナブルな社会に貢献したいと思います。



自由設計  
Scene - A

2025

11 月

株式会社シンエイ・シンエイリフォーム

兵庫県西宮市小曾根町4丁目5番16号

TEL 0798-47-1661 FAX 0798-48-0354

info@scene-a.com